

Case : 209

勢いよく押してしまったため、頭をぶつけそうになる

場面の説明

介助者が普段通りの力で動かしたため、利用者が勢いよくすべり、ベッドのボードに頭がぶつかってしまった



利用シーン	 起居・就寝  移乗
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	123306 (体位変換用シーツ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

この事例では、介助者はスライディングシーツの使用に慣れておらず、普段通りの力加減で押してしまったそうです。はじめて福祉用具を使う際には、その製品の特長をよく理解して、必要に応じて練習を行うなどの準備をすることが大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：こんなにもすべるとは想定していなかった
- 人：練習不足の状態で使用した
- モノ：安全に対する注意書きが取扱説明書に書かれていなかった
- 管理：安全な使い方を教えてくれる人がいなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 209

勢いよく押してしまったため、頭をぶつけそうになる

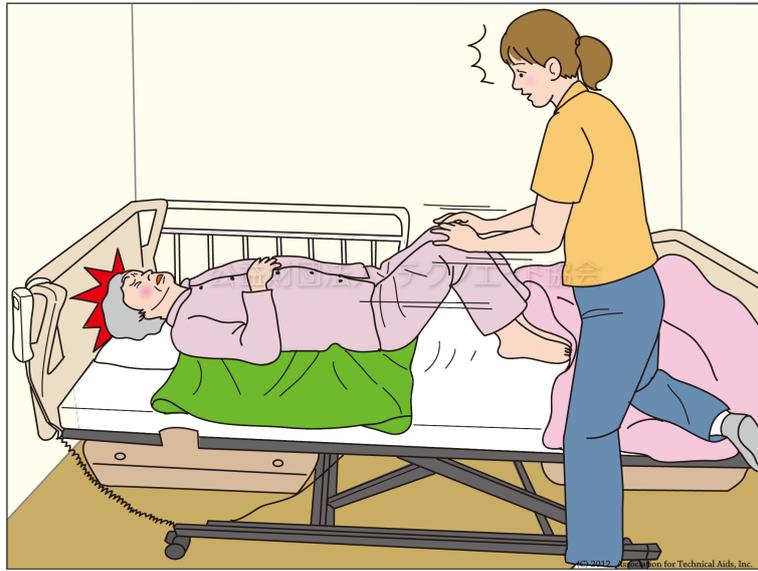
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

介助者が普段通りの力で動かしたため、利用者が勢いよくすべり、ベッドのボードに頭がぶつかってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ